

みずほCustomer Desk Report 2018/02/07号(As of 2018/02/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.08
TKY 9:00AM	109.07	1.2367	134.91	1.3940	0.7877
SYD-NY High	109.65	1.2435	135.79	1.3998	0.7910
SYD-NY Low	108.46	1.2314	134.00	1.3838	0.7835
NY 5:00 PM	109.57	1.2378	135.60	1.3951	0.7906
NY DOW	24,912.77	567.02	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,115.88	148.36	日本10年債	0.0700	▲1.00bp
S&P	2,695.14	46.20	米国2年債	2.1072	6.88bp
日経平均	21,610.24	▲1,071.84	米国5年債	2.5421	9.93bp
TOPIX	1,743.41	▲80.33	米国10年債	2.8045	9.61bp
シカゴ日経先物	22,240	830.00	独10年債	0.6915	▲4.00bp
ロンドンFT	7,141.40	▲193.58	英10年債	1.5195	▲3.70bp
DAX	12,392.66	▲294.83	豪10年債	2.7905	▲9.30bp
ハンセン指数	30,595.42	▲1,649.80	USDJPY 1M Vol	9.25	▲0.20%
上海総合	3,370.65	▲116.85	USDJPY 3M Vol	9.12	0.02%
NY金	1,329.50	▲7.00	USDJPY 6M Vol	9.12	0.02%
WTI	63.39	▲0.76	USDJPY 1M 25RR	-1.95	Yen Call Over
CRB指数	194.75	▲0.92	EURJPY 3M Vol	9.68	0.60%
ドルインデックス	89.66	0.11	EURJPY 6M Vol	9.50	0.43%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月6日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -0.5%	-0.2%
	12:30	豪 RBAキャシュレート	1.50%	1.50%
	18:10	独 マークイット ドイツ小売業PMI	1月 -	-
	18:10	欧 マークイット ユーロ圏小売業PMI	1月 -	-
	22:50	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	「雇用とインフレの関係性は薄れている」	

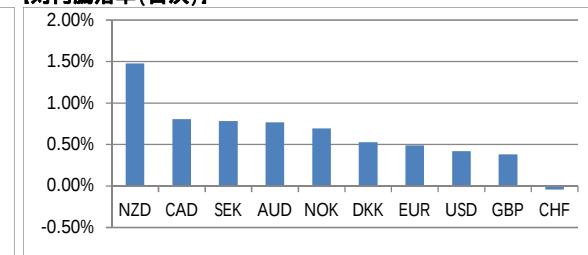
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月7日	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 -0.7%/6.8%	3.4%/5.6%
	20:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.6%
	22:30	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
2月8日	0:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-110.10	1.2330-1.2430	135.20-136.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円はやや上昇。前日急落していた米株式市場が大幅に反発したことから、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、米長期金利の上昇とともに、ドル円は109円台半ばまで上昇。本日のドル円は109円台後半で推移すると予想。株式市場の反発に伴うリスク回避姿勢の後退を背景に、本日のドル円は株価や米長期金利の動きを睨みながら、109円台後半を中心に推移しそうだ。

東京	東京時間、109.07レベルで取引を開始したドル円は東京時間高値109.30まで上昇する場面も見られたが、上値を試す展開とはならず109円台前半で小動きで推移。しかしその後、安寄りした日経平均株価が下げ幅を1,200円超まで拡大、米10年債利回りは2.74%台から2.64%台まで低下する中、ドル円は108.55まで下落。後場に入ると日経平均株価がさらに1,600円超安まで下落、ドル円も東京時間安値108.46まで続落した。その後、株価がやや値を戻す動きとなるとドル円は108.96まで反発し、108.86レベルで海外に渡った。なお、安倍首相が衆議院予算委員会で「黒田日銀総裁の手腕を信頼している」と述べたが市場の反応は限定的となった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.86レベルでオープン。株価下落に乗じた円買いが一服し、ドル円は109.32まで上昇。109.29レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2373レベルでオープン。独12月製造業受注が前月比3.8%の上昇を示し、市場予想(同:0.7%)を大幅に上回ったことで、1.2435まで堅調に推移。しかし、CDUとCSU、およびSPDの指導部が最終的な連立協議の結果発表を控え、イベント前にポジション調整が入り、1.2335に低下。1.2340レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	前日の米株式市場大暴落を受け、日経平均も暴落したことから海外市場で円買いが強まり、ドル円は108.46まで下落するが、VIX(恐怖指数)が50を上抜ける展開にリスク回避からドル買いが強まり、109.29レベルでNYオープン。朝方は米12月貿易赤字が予想以上に拡大したものの、ドル円の反応は限定的となる一方、海外市場の流れを引き継ぎ、ドル買いが優勢となったことからドル円は109.65まで上昇する。その後は寄り付き後、560ドル超安まで下落したグリが反転上昇360ドル高まで急伸する展開にドル買いが後退するも、再度株式市場が反落する荒い値動きに円買いが強まり、ドル円は109.10まで下落。午後に入り109.09まで下落する局面もあったものの、終盤に掛けて株式市場が25,000ドルに向かって上昇する展開に円売りが持ち込まれ、加えてドル買いも強まったことから109.63まで戻し、109.57レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.2340レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続したことからユーロドルは2週間ぶりのレベルである1.2314まで下落したが、その後は米株式市場が下げ渋る展開にユーロ買いが強まり、1.2405まで戻す。終盤に掛けては株高を受けてユーロ円が上昇する一方、ドル買いが優勢となったことからユーロドルは上値を重くし、1.2378レベルでクローズした。(NY17:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱・森谷